



平成 25 年度 補助事業等実績報告書

平成 26 年 4 月 16 日

函館市長 工藤 壽樹 様

住 所 函館市旭岡町 19 番地 29
申請者 団体名 社会福祉法人函館一条
代表者 理事長 尾形 永造

補助事業等の名称 福祉の店運営経費事業

平成 25 年 4 月 24 日付函福障をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、平成 26 年 3 月 31 日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額	金 7 2 0 , 0 0 0 円
補助金等領収済額	金 7 2 0 , 0 0 0 円
補助金等領収未済額	金 0 円

補助事業等の実績書

申請概要	設立年月日	昭和57年11月18日
	職員数等	職員数 52名 就労継続支援B型事業 利用定員 50名 (うち福祉の店 3名)
	営む主な事業	総合支援法に規定する障がい福祉サービス事業の実施
補助事業等の内容	<p>函館駅前大門地区の空き店舗を活用して福祉の店を運営し、授産製品を販売する。</p> <p>○開店日 平成25年4月1日</p> <p>○営業時間 午前8時から午後5時までとし、大門地区各種イベント時は営業時間を調整する。 (定休日は毎週月曜日)</p> <p>○従業員の配置 支援員(1名)と利用者(3名)を常時配置</p> <p>○販売形態 道南の障がい者事業所等で制作した授産製品を店舗に搬入し、販売。</p> <p>○売上金等 授産製品の販売による売上金から、販売に要した経費を差し引き、全額各事業所に支払う。販売の要した経費の中から工賃として利用者に支給。</p>	
補助事業等の実施による効果	<p>函館駅前大門地区の活性化および授産製品の販路拡大と販売促進をとおして、障がい者等の経済的自立を目指すとともに、就労を通じた自己実現と社会参加を促すほか、各事業所の製品向上と販売ノウハウの習得が図れた。</p>	
備考		

平成25年度 福祉の店運営経費収支決算書

収入の部

(単位：円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減 A-B	内訳
補助金	720,000	720,000	0	函館市より @60,000円×12ヶ月=720,000円
障がい福祉 サービス費収入	4,040,000	4,015,440	24,560	本体報酬 507単位×10円×22日×3人 ×12ヶ月=4,015,440円 (利用者負担収入含む)
授産製品販売 収入	1,800,000	2,230,146	△430,146	
繰入金	773,000	539,708	233,292	法人からの繰入分
合計	7,333,000	7,505,294	△172,294	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減 A-B	内訳
人件費	2,587,000	2,587,350	△350	支援員(1名) 給料 155,700円×12ヶ月×1名=1,868,400円 期末手当 155,700円×3.5ヶ月×1名= 544,950円 通勤手当 12,000円×12ヶ月×1名= 144,000円 住宅手当 2,500円×12ヶ月×1名= 30,000円
法定福利費 (事業主負担分)	254,000	327,204	△73,204	支援員(1名) 健康保険料 9,614円×12ヶ月×1名= 115,368円 厚生年金 16,264円×12ヶ月×1名= 195,168円 児童手当搬出金 255円×12ヶ月×1名= 3,060円 労災・雇用保険料 1,134円×12ヶ月×1名= 13,608円
利用者工賃	492,000	386,400	105,600	利用者(3名) 13,000円×12ヶ月×2名= 312,000円 6,200円×12ヶ月×1名= 74,400円
店舗賃貸料	1,920,000	1,920,000	0	160,000円×12ヶ月=1,920,000円
需用費	420,000	331,716	88,284	消耗品 事務用品 トナー代等
役務費	220,000	214,880	5,120	通信運搬費 広報費 手数料 等 通信運搬費 111,085円 広報費 54,550円 手数料等 49,245円
諸経費	1,440,000	1,737,744	△297,744	光熱水費 組合費等
予備費	0	0	0	
合計	7,333,000	7,505,294	△172,294	

収支差引額 7,505,294-7,505,294= 0